

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

皆さんは「バックキャスト」という言葉をご存じだろうか。「バックキャスト」とは、目標となる未来を定めた上で、現在何をするべきかを考える発想法である。たとえば環境問題に適応するならば、「二〇五〇年までに温室効果ガスを〇%削減するためには、今から毎年〇%ずつ削減する必要がある」と定めて、それを実現すべく行動していくというようなことである。この「バックキャスト」の発想を人生に適用せよと主張する人もいるようだ。たとえば「二〇五〇年までに一流企業の社長になる。そのために今から日々ビジネスの勉強をしていこう」というように。

(1) **エ** 人生において目標を定めることは大切だ。
 (2) **ウ** 「バックキャスト」の発想は、時に人生の可能性を狭めてしまうのではないか。仮にここに十五歳の若者がいるとする。この若者が「バックキャスト」の発想に

立つなら、彼は自分が三十歳になった時の目標を、今現在知っている知識や経験の中で定め、それを実現すべくこの先の人生を過ごすことになるだろう。だが、十五歳の時に立てた目標は、所詮十五歳の発想によるものに過ぎない。この少年が成長して二十歳になった時に世界の情勢は大きく変わっているであろう。

(3) **イ** 彼自身も知識や経験を積んで興味の対象も広がっているかもしれない。

(4) **ア**、二十歳の彼にとって、かつての目標がもはや無意味なものや幼稚なものとして化していることも充分にあり得る。その時彼に必要なことは過去の目標に固執しながら三十歳まで過ごすことではなく、柔軟に目標を修正してより充実した二十代を生きていくことである。人生はたった一つの目標を達成するためにあるのではない。目標よりも大事なはその人の人生そのものである。

(5) **オ** 私
 が言いたいのは人生が本末転倒になつてはならないということだ。

ア そうである以上 イ また ウ だが エ 確かに オ 要するに

- (1) エ (意見をいったん認める)
- (2) ウ (その前に述べられた意見と違うことを述べる)
- (3) イ (並べて述べる)
- (4) ア (これまでの内容を受けて結果として言えることを述べる)
- (5) オ (まとめて言う)



2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

人生には誰かと勝負をして勝たなければならない瞬間があります。とはいっても、大人になると誰かと取っ組み合いのケンカをするようなことは(6) **力** ありません。たとえば大人の世界での勝負というと、ビジネスでの商談などがその例として考えられます。ここでは相手と交渉してうまく取り引きを成立させることなどが「勝つ」ことに該当するでしょう。(7) **ク** そういった場面での「勝つ」の意味するところは何でしょうか。一般的には「勝つ」とは「相手より優れること」を意味しているように思われます。(8) **キ** 大人の世界での「勝つ」は「自分の優れた部分を見せること」ではなく、「相手を自分に従わせて自分の意志の通りに物事を進めること」を意味する場合があります。(9) **コ** 、大人の世界では「自分の意志の通りに物事を進めた人」が「勝者」ということになります。(10) **ケ** 大人の世界では、一見下手に出て弱そうに見えている人が、実は最強の人物であるということも起こり得るわけです。

カ まず キ でも ク では ケ だから コ 言い換えれば

(6)カ (否定を強調)

(7)ク (前の内容を受けて論を展開)

(8)キ (逆の内容)

(9)コ (言い換えて説明)

(10)ケ (原因から結果)

*ケとコの違いをよく考えて選びましょう。